

三重大大学とつくる 地域創生

2019.10

三重大大学 地域拠点サテライト

三重大大学地域創生推進チーム

TEL 059-231-6271

E-mail regional-t@ab.mie-u.ac.jp

URL <http://www.rscn.mie-u.ac.jp/>

三重大学地域拠点サテライト

概要

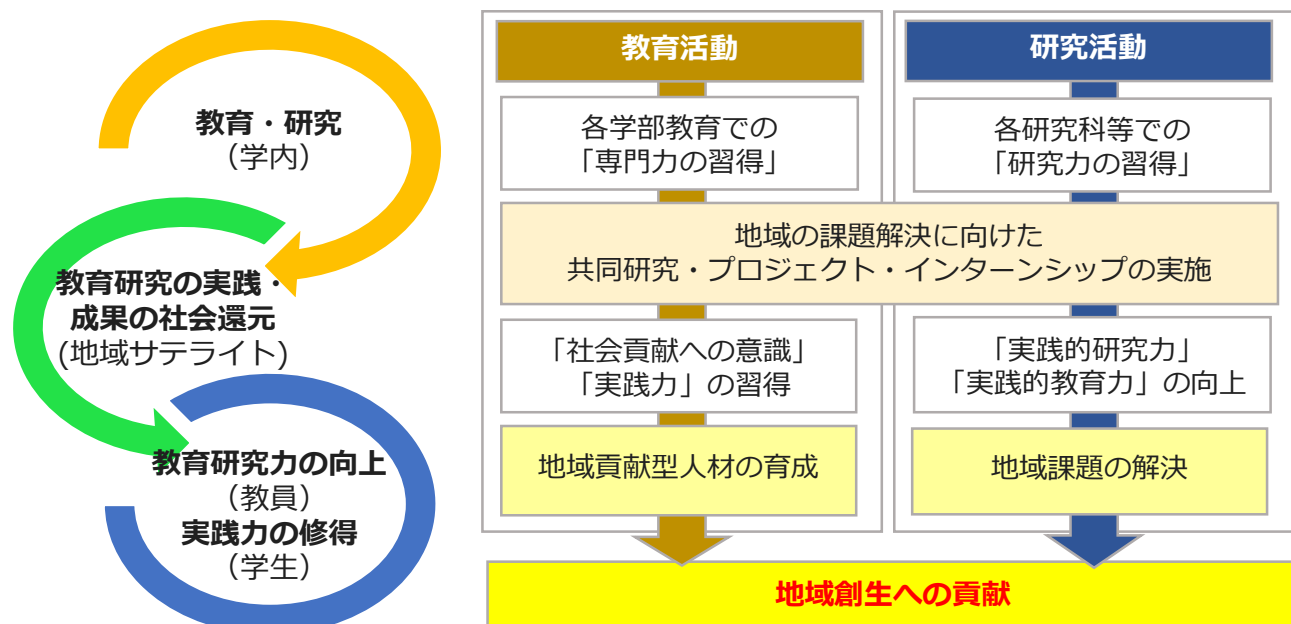
平成28年度から順次設置している「地域拠点サテライト」では、県内全域を三重大学の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト（伊賀サテライト、東紀州サテライト、伊勢志摩サテライト、北勢サテライト）を地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能として展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、特色豊かな活動拠点を設置しています。

これら4つの地域サテライトでは教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行うほか、共同研究・共同プロジェクトを通じた地域の課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。



目的

➤ 教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



4つの地域サテライト

地域の課題・特性に応じた 社会還元・実践的な教育研究力向上の場

平成31年
2月1日開設

北勢サテライト

Hokusei Regional Satellite

- **担当エリア**：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
- **北勢サテライトの目標（旗）**：
日本のモノづくりの真髄を体感し富を生み出す拠点
- **具体的活動内容**
自動車、石油化学、食品化学企業等との産学連携事業、企業人材のリカレント教育、モノづくり企業との連携による学生・若手教員の育成等

伊賀サテライト

Iga Regional Satellite

- **担当エリア**：名張市、伊賀市
- **伊賀サテライトの目標（旗）**：
固有文化と地域資源の活用で地域再生に寄与する拠点
- **具体的活動内容**：
忍者等の歴史・文化、医薬品企業との連携、森林資源の活用等

伊勢志摩サテライト

Ise-Shima Regional Satellite

- **担当エリア**：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
- **伊勢志摩サテライトの目標（旗）**：
歴史ある自然との共生・共存の思想を世界に発信する拠点
- **具体的活動内容**：
食と観光産業による地域創生の研究（歴史文化の交流、海女文化、水産資源の活性化、食品の6次産業化、観光資源の活用など）、地域人材の育成等

東紀州サテライト

Higashi-Kishu Regional Satellite

- **担当エリア**：尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町
- **東紀州サテライトの目標（旗）**：
地域資源で富を生み力強い子供が育つことを支える拠点
- **具体的活動内容**：
地域に根ざした教育、水産増養殖・加工業との連携、森林資源や観光資源の活用等

伊賀サテライト<平成28年度開設>

●担当エリア：名張市・伊賀市

活動拠点 伊賀研究拠点〔伊賀市〕

●概要：伊賀地域の企業の高度化や新産業の創出に向けて地域特性を活かした産学官連携に取り組むとともに、地域活性化に寄与するため、文化的啓発活動に取り組む。



活動拠点 伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター〔伊賀市〕

●概要：地域と連携した忍者研究の拠点として、忍者に関する教育・文化振興・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題等に対応することにより伊賀地域の充実・発展に寄与する。さらに、国際的な忍者研究を推進し、その成果を広く国内外に発信する。



活動紹介

産学官連携活動

産学官連携セミナーin伊賀



産学官連携の在り方や進展に向けて考える機会とするべく、ヒルホテルサンピア伊賀の白鳳の間にて、「歴史文化的資源を活かした地方都市再生の展望」というテーマで「第17回三重大学産学官連携セミナー」を開催し、118名の参加があった。(2019.02.05)

兵糧丸風かたやき小焼き開発



「忍者の知恵を活かした携帯食に関する研究」をテーマとして名張市の洋菓子店「モンパクトル」と共同研究を行い、兵糧丸の原料等を参考に、既存商品を進化・発展させ、三重大学産学連携認定商品として販売を開始した。(2018.03～)

忍びの里伊賀創生プロジェクト



「忍者」の歴史・文化を掘り下げつつ、本物を体験するプログラムを産学官民が連携して創出するため、三重県・伊賀市・日本航空との協同事業『「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト』が発足。伊賀市の旧まらばしら保育所にて発足会を行った。(2017.08.05)

仕事バー 「忍者のまちに行かナイト」



東京都江東区の仕事バーにおいて、伊賀市と共催で、講演を行った。首都圏の人々に、伊賀の忍者文化研究について発信するとともに、伊賀市が進めている移住促進政策にも寄与できた。(2018.07.06)

健康科学食品研究会



食の機能性と健康の観点から専門家に話題提供していただき、意見交換を行っている。これにより、伊賀地域の企業と連携し、地域産業を支援していくことを進めている。(2018.12.07)

みえ自然災害研究会



自然災害の発生メカニズムの解明を行うとともに、防災・減災対策に繋がる方策について、産官学の専門性を有する者が協働し、調査・研究を行っている(2018.04～)

地域人材育成

「こども大学」開催



子供たちに科学の楽しさを伝え興味を持ってもらい、将来地域に貢献できる人材育成を目指すことを目的に、第19回「こども大学」を開催した。三重大学生物資源学研究科学生、伊賀市職員、三重大学教職員が講師として参加した。(2019.03.27)

小学校への出前授業



「電磁石入門」をテーマとして、伊賀市立新居小学校にて5年生27人を対象に出前授業を行った。(2017.09.20)

中高大連携授業



桜丘中学高等学校の中高大連携授業の第3回目を開催。第1回目で講義を行った「比色分析」をテーマとした実験を実施した。(2017.7.10)

地域資源の活用・研究成果の社会還元

国際忍者研究センターの設置



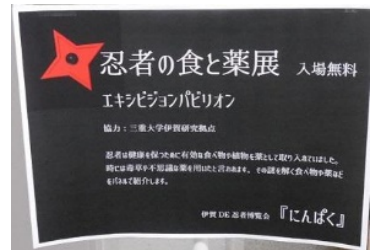
忍者文化の研究及びその成果の情報発信の拠点として、国際忍者研究センターを設立した。(2017.07.01)

伊賀オーガニックフェスタ



ストレス測定を青山種生地区にて開催された伊賀オーガニックフェスタに参加し、ランビキの現代版であるHerbicを用いた芳香体験や、簡易ストレスチェッカーを用いて行った。(2017.08.27)

忍者の食と薬展



伊賀市文化会館にて開催された伊賀市文化都市協会主催の「にんぱく(伊賀DE忍者博覧会)」で、伊賀研究拠点が忍者の食と薬に関する研究成果のパネル展示を行った。(2018.04.21～22)

国際忍者研究センター設立記念講演会・シンポジウム開催



国際忍者研究センターの設立を記念し、海外から招待した研究員による記念講演を含む講演会とシンポジウムを開催し、約200名の参加があった。(2017.07.01)

講演会「徳川幕府と伊賀者たち」



東京都武蔵野市のスイングホールにて、国際忍者研究センターの高尾准教授が徳川幕府伊賀者についての講演会を行い、約150名の参加があった。(2018.05.16)

忍者・忍術学講座



ハイトピア伊賀にて市民講座「忍者・忍術学講座」を月1回開催し、平成30年度は全12回で延べ1,340名の参加があった。(2018.04～2019.03)



忍者に関する教育・研究の推進

国際忍者研究センターは平成29年7月に伊賀サテライト内に設置され、国際的な忍者研究の拠点として、忍者の歴史や文化に関する研究を行っている。さらに大学院人文社会科学研究科では、平成30年度の入試から専門科目「忍者・忍術学」が導入され、本センター所属の准教授が行う講義もある。伊賀地域をフィールドとして現地で学ぶ授業も予定されており、忍者研究を行う人材育成に取り組んでいる。



国際忍者学会の設立

国際忍者研究センターが中心となって、平成30年2月に国際忍者学会を設立した。忍者研究に関する国際的な情報を集約・発信し、かつ専門的な研究を進めることを目的としている。同月には、伊賀市で設立記念イベントを行い、約210名の参加者があった。これにより、伊賀市が忍者研究の核心地であることがアピールできるとともに、忍者研究に関する広範なネットワークを形成することができた。平成30年9月には、佐賀県嬉野市で第2回国際忍者学会を開催した。

新たな取り組み



全国忍者調査プロジェクト（略称「忍プロ」）開始

国際忍者研究センターでは、平成30年8月に全国忍者調査プロジェクト（略称「忍プロ」）という企画を開始した。全国の教育委員会・博物館・研究機関等800ヶ所に調査票を送付し、全国に点在する忍者学関係史資料の情報を収集するものである。これらは、データベース化を行い、一般公開も予定している。この取り組みにより、今後の研究をさらに発展させることが期待できる。

活動実績（平成29～30年度）

▼市町とのプロジェクト

- 名張市 名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業委託
- 名張市 生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業委託業務
- 伊賀市 地域住民による地区防災計画立案に資する意識調査に関する研究
- 伊賀市 地域の森林・林業再生プラン策定業務委託研究
- 伊賀市 農林業からできる地域循環システムの実現に向けて

▼地域貢献支援事業

- 名張市 「地域でのアクションリサーチで、健康増進を改善する」
- 伊賀市・名張市・津市 LED利用型植物工場における光環境特性の構築および商用普及
- 名張市 地域住民の就労と治療の両立を促進するためのリテラシー教育プログラムの開発と、地域での展開
- 三重県・松阪市・伊勢市・伊賀市 地域防災課題解決に向けた地域実践活動の支援
- 伊賀市 中山地間の集落機能に関する調査と連携活動

▼県内中小企業との共同研究

- (H29) 化学分野1件、環境学分野4件、工学分野1件、生物学分野1件、農学分野3件、複合領域分野1件
- (H30) 化学分野1件、工学分野3件、総合理工分野1件、医歯薬学分野1件、社会科学分野2件、農学分野6件

東紀州サテライト<平成28年度開設>

- 担当エリア**：尾鷲市・熊野市・大台町・大紀町
紀北町・御浜町・紀宝町

活動拠点 東紀州産業振興学舎〔尾鷲市〕

- 概要**：地域産業振興や地域雇用の拡大に向けて、地場産業である柑橘農業、水産業、林業を県内外の企業の協力を得ながら地域の自治体との共同プロジェクトや県内外の企業との共同研究を実施する。



活動拠点 東紀州教育学舎〔熊野市〕

- 概要**：東紀州地域の小中学校教員と共同して、地域に根ざした外国語(英語)・プログラミング教育・ICTを活用した教育に対応できる教材を、各自治体のニーズに合わせた形で開発に取りくむ。同時に、地域課題に対応できる教員研修を行うとともに、教員として地域に戻ってもらえるよう、東紀州地域の高校において地域の魅力を発信できる教育実践を行い、地域の教育力・学力向上を目指す。



活動紹介

学生の地域との連携活動

学生の地域食文化実習



東紀州地域の柑橘類や水産物等の伝統食文化の保存・調理及び学生の伝統食文化理解の涵養を目的に、NPO法人天満浦百人会協力の下、地域食文化実習を行った。(2017.11.25～26)

甘夏の加工及び販売



NPO法人天満浦百人会と学生が連携し、甘夏の利用の促進、三重大学学生と地域住民との交流を目的に、未収穫の甘夏利用率の向上を目指し甘夏加工及び販売を行った。(2017.04.29～30)

高大連携東紀州講座



教育研究成果や最新の科学的知見を地域へ還元し、学習意欲益める進学希望者を増やすことを目的に、木本高校・尾鷲高校で公開授業を行っている。(2018.7～)



熊野サミット

「熊野地域を元気に」「熊野で暮らす・働く・楽しむ」をテーマに、三重大学をはじめ、熊野地域にて活動している様々な大学がそれぞれの活動の発表・情報交換を行い、横のつながりを構築すると同時に、東紀州地域の関係者との連携を図ることを目的とするサミットを開催した。(2017.10.28～10.29)



藻場再生事業

藻場の衰退現象である「磯焼け」がもたらす水棲生物の減少による漁獲高に大きな影響を及ぼす問題に対して、ウニ類(ガンガゼ)の除去が大きな効果をもたらすことは判明している。本学は三重県水産基盤整備課との調査研究を踏まえ、三重県南部の沿岸域でウニ類の除去に取り組む効果的な時期や手法を「三重県版磯焼け対策ガイドライン」として取りまとめた。今後はガイドラインを基に、新たな地域でのウニ除去活動の実施と効果の測定に向けたプロジェクトを実施している。(2017.07.06～2018.03.31)

小中学校教員研修



地域課題に対応できる教育人材育成の一環としての、東紀州地域の教員を対象とした研修。2017年度は英語研修を計14回、2018年度は計17回、プログラミング研修は3回開催した。(2018.01～)

プログラミング教育の出前授業



2020年小学校プログラミング教育必修化に向けた教材開発の実践・提案を兼ねた出前授業を、東紀州地域の小中学校で、平成29年度は計15回、平成30年度は31回実施した。(2017.11～)

小学校外国語教育の出前授業



2020年小学校英語教科化に向けた教材開発の実践・提案を兼ねた出前授業を、東紀州地域の小中学校で、平成29年度は計19回、平成30年度は91回実施した。(2017.11～)



複式学級に対応した年間指導計画

東紀州地域では、現在多くの小学校が複式学級で授業を行っているが、外国語及び外国語活動の複式版指導計画が確立されていない。そこで東紀州教育学舎では、2020年教科化する小学校英語にICTの活用を絡めた年間指導計画を作成。東紀州地域以外の複式学級を抱える地域に対しても活用されるよう、取組に関する情報発信を行うとともに、出前授業等の場で実践し、県内全体への波及を目指している。



自然環境リテラシー学

三重の自然環境を総合的に理解し、自然の大切さ、共生社会のあり方などを他者に明瞭に伝達できる能力の向上を目指す。講義で三重の自然環境に関する知識の習得を図り、実習でシーカヤック・トレッキング等の体験・フィールドワークを通じて座学実践両面からの人材育成を行う。

インバウンド拡大への取組



インバウンドの拡大に向けて、東紀州地域の企業との共同研究として、本学教育学部留学生の視点から見たインバウンドにおける課題について集約し、提案につなげることを検討している。(2019.6～2020.3)

情報発信・基盤構築事業



大学の教育研究内容をわかりやすく紹介するセミナーを実施。情報発信とともに、地元関係者との基盤構築に取り組む。(2018.12～2019.3)

高大連携・新商品開発



高大連携事業として、地元の特産品を使った商品開発を通して、高校生が地域の魅力を知ると共に、本学学生の教育力強化を目指す。(2018.6～9)

水産業バリューチェーン構築事業



東紀州地域と都心を結ぶ六次産業化への支援を通して、漁業の現状・課題への理解を深める。(2018.6～2019.3)

林業活性化セミナー



ICTを活用した林業活性化の構想について、東紀州地域の林業関係者を対象としたセミナーを実施。(2018.12.14)

木育プロジェクト



東紀州地域の林業を担う人材育成を目的とし、小中学校生を対象に、林業を身近に感じてもらうための「木育」プロジェクトを関係者と企画し、実施した。(2018.4～2019.3)



海外の大学との国際交流

学部間協定を結んでいるフライブルク・カトリック応用科学大学と共催し、両者の地域医療における共通課題の解決に向け、パネルディスカッションや、地域医療の解決策を考えるにあたり、三重県南牟婁郡御浜町にある紀南病院視察を行った。その成果は卒業論文や国際共同研究に繋がっている。(2017.12.23)

産学官連携商品開発



三重大学地域イノベーション学研究所の産学官協働ゆずプロジェクトの一環で、近鉄リテーリングと酒造会社伊勢萬(株)と協働し、「奥伊勢ゆずハイボール」を開発した。(2017.07.21)

新たな観光モデルづくり



尾鷲観光物産協会を中心に三重大学等が協力し「天狗倉山まるごとプロジェクト」を実施。観光振興による地域再生を目的に、モデルツアー、ワークショップ等を開催した。(2017.09～)

企業研究会in東紀州



キャリア支援センター主催、東紀州サテライト共催の下、東紀州地区の地域、企業の魅力を知ることが目的に、企業研究会in東紀州を開催した。(2017.12.02)

新たな取り組み



シェアリングエコノミー活用推進事業

三重大学地域創生戦略企画室と紀北町役場、三重交通、みえ熊野古道商工会等の協働により、移動手段を確保できない交通弱者問題解決の一助とすべく、ICTを活用した「ライドシェア」の実証事業の実施を、総務省の「シェアリングエコノミー活用推進事業」を通して実施した。平成30年度9月～12月にかけて実証実験を行った。

活動実績（平成29～30年度）

▼市町とのプロジェクト

- 御浜町 古文書の整理及び解読
- 御浜町 ヨソモノ・ワカモノ目線での町内PRコンテンツ制作を通じたまちの魅力向上に関する研究
- 尾鷲市 尾鷲湾及び賀田湾における藻場追跡調査
- 尾鷲市 高校生地域人材育成委託研究
- 尾鷲市 早田浦の藻場再生に関する研究
- 紀宝町 「桐原地区」活性化研究
- 紀北町 藻場再生のための調査研究
- 紀北町 紀北町健康センターを活用した地域住民の健康増進に関する調査研究
- 熊野市 那智黒石加工技術開発研究
- 紀北町 総務省シェアリングエコノミー実証事業を活用した紀北町相乗り運送実証事業の効果と検証

▼地域貢献支援事業

- 尾鷲市 ウニ除去を通じた三重県南部の藻場再生活動の推進
- 熊野市 東紀州におけるICTを援用した科学的柑橘栽培支援
- 尾鷲市 東紀州サテライトを拠点とした地域プロジェクト型インターンシッププログラムの開発
- 尾鷲市 尾鷲天満荘（東紀州産業振興学舎）を利用した地域食文化実習
- 大紀町 大内山川に生息する放流アユ比率の季節変動
- 大台町・多気町・明和町・玉城町・伊勢市 宮川用水のパイプライン内のタイワンシジミ詰まり問題解決に向けて
- 熊野市 東紀州サテライトを拠点とした熊野地域の小・中高の児童・生徒に対する「木育」プログラムの開発と実施
- 大台町 地域に根ざした人的並びに生物資源の有効活用 -大台町の地域観光施設を中心拠点とした健康長寿対策に関わる人材育成・再教育の支援-
- 東紀州「論理的思考能力を育成するプログラミング学習の教材開発と東紀州地域での支援活動」
- 御浜町、紀宝町、熊野市役所、紀北町、尾鷲市「東紀州地域における小学校外国語(英語)教育システム開発と支援活動」
- 東紀州 地方自治体における防災・減災に関する地域課題解決のための活動支援
- 熊野市 神々が愛した星空発信プロジェクト

▼県内中小企業との共同研究 (H29)農学分野1件 (H30)農学分野5件

伊勢志摩サテライト<平成29年度開設>

●**担当エリア**：伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町
度会町・南伊勢町

活動拠点 **海女研究センター**〔鳥羽市〕

●**概要**：「海女」を切り口とした、教育研究・人材育成・情報発信等を展開する、地域連携の活動拠点。専門知識・技術（スキル・ノウハウ）・人材の提供を通じて、地域との協働を基に地域の課題解決を支援する。



活動紹介

地域人材育成

「地域経営プラン演習」構築事業



県立南伊勢高校南勢校舎にて、「地域経営プラン演習」構築事業として「西村ゼミ」を開講。自身と地域の未来を考える力を養成する。平成30年度からは正式科目「地域探求」として実施している。(2017.6～)

南伊勢町まちづくりリーダー研修



本学教員がコーディネーターとして参画し、南伊勢町の地域リーダー養成を目的とした定期的な研修会を開催。地域の若手人材や高校生、教員等を集め、地域の将来を牽引する人材養成を推進する。平成30年度からはリーダー養成事業として実施。(2017.5～)

小学校の郷土教育教材開発



志摩市の教員及び環境省と共に、志摩市立志島小学校の3・4年生を対象に、郷土教育教材開発を実施した。地元小学校との共同研究として約半年にわたり実践授業を行った。(2017.5～12)

産学官連携活動・研究成果の社会還元等

地区計画策定



鳥羽市連携による地区計画の策定。伊勢志摩国立公園における景観形成と地震・津波対策を盛り込んだ「鳥羽市の中心市街地の再生」を提案し、鳥羽市長にプレゼンを行った。(2017.12.26)

工学部伊勢地区工場見学



伊勢市産業支援センターと連携し、工学部機械工学科・電気電子工学科の学生による地域企業の工場見学を実施している。平成30年度は11社を回り延べ447名が参加した。(2017.6～11)

海女研究センターの設置



平成30年3月に活動拠点として海女研究センターを設置。海女の歴史・文化研究を基軸に、「海女」を切り口とした教育活動・学際的研究、情報発信、国際交流等を展開する。(2018.3.25)

水産増養殖に関する高大連携事業

三重県立水産高等学校（志摩市和具）との高大連携事業。志摩を代表する真珠生産用のアコヤガイ餌料としての微細藻の性能評価試験を共同研究として実施したり、両機関の教員が相互に特別講義や実習支援を行うなど、教育・研究面でのさまざまな連携活動を実施している。(2017.4～)



伊勢志摩サテライトシンポジウム



伊勢志摩サテライト開設1周年及び海女研究センターの設置を記念し、シンポジウムを開催。海女や伊勢志摩地域での研究成果の発表と地域有識者との意見交換を実施。

(2018.3.25)

「伊勢河崎商人館」展示計画を通じた景観まちづくり活動の推進



伊勢市国登録有形文化財である「伊勢河崎商人館」において、河崎地区の歴史・文化・景観を解説するパネル群と町並み再現模型の解説パンフレットを作成。入館者に対する伊勢河崎地区の歴史・文化・景観へのガイダンス効果の向上に寄与。(2016～2019.3)

志摩市越賀郷蔵文書調査



海女漁に関する史料も豊富に含む、志摩地域随一の古文書群調査。志摩市文化財指定を目指して学生・院生及び志摩市教育委員会関係者と共に500点余の調書を取り、700枚ほどの写真撮影を行った。(2018.6～)



海女の歴史・文化関係アーカイブのデータベース構築

海女に関する画像・映像、古文書、民俗資料などをデジタル化し、データベースを構築することにより、文化財の保護に寄与するとともに、海女研究の基礎的な資産を構築する。平成30年度には、書籍720件、論文524件の書誌データを得た。画像については1万5千件余をデジタル化し、うち3千件のキャプションを作成。これに基づく基礎研究・応用研究の進展だけでなく、情報発信、展示会・映写会等の実施により、海女文化の理解と地域振興に貢献する。成果の一部は海女学講座にて報告し、海女研究の基礎資料として地域の期待も高まっている。



海女を語るガイドシナリオ作成プロジェクト

鳥羽市教育委員会との連携事業として、市内で海女文化をガイドできる人材育成を図るため、海の博物館の海女展示を対象にガイドシナリオを作成。博物館の学芸員、海女、地元高校生の声を聴き、学生の感性を活かしてシナリオをブラッシュアップさせる。海の博物館での事前調査やプレゼンの回数を重ねながらシナリオを仕上げ、教育委員会に提出。参加学生は博物館、文化財行政、教育現場に関わる、貴重な体験となった。(2018.10～)

学生活動支援

学生を主体とした地域連携活動



医学部生中心の学生団体BlueSeaによる、志摩市の救急車適正利用及び海水浴場利用者の満足度向上を目的とした活動。海水浴場に応急救護所を開設し、市民病院と連携し現地での応急救護及び受診手配等を実施。(2018.7～9)

国際交流

学生の伊勢志摩視察・現地交流



6か国11大学から100名を超える学生・教員が参加するTri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムにおいて、スタディツアーを実施。伊勢志摩の視察と現地交流を行った。(2017.10.25)

国際研修プログラムの実施



JICA、JISNASによる国際研修プログラム「里海の理念共有による沿岸漁業資源の持続的利用」を実施。「里海」の理念とその生物資源学的重要性に関する研修を行った。(2018.2.27～3.8)



イタリア食科学大学との合同フィールドスタディ

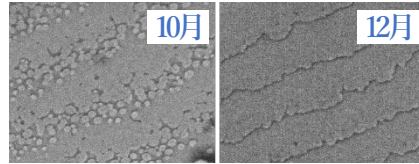
地域創生戦略企画室と連携協定を結ぶイタリア食科学大学の学生14名を迎え、伊勢志摩地域を中心に合同フィールドスタディ研修を実施。鳥羽市の海女文化・海藻食文化、伊勢神宮及び伊勢志摩の伝統食、四日市市の醤油・味噌醸造所での発酵食文化などを学び、三重県の食資源と文化特性や多様性に対する理解を深め、国際的認知度向上に貢献した。(2019.2.2)

海女学講座Ⅰ



海の博物館にて、鳥羽・志摩の宝である「海女」について、歴史・民俗・水産・絵画・写真など様々な分野から紹介する連続講座を実施し、延べ224名が参加した。(2019.10.14～12.16)

アコヤガイ養殖に関わる課題解決のための調査研究



水温低下による真珠表面構造の変化

志摩市官学連携研究助成事業として、アコヤガイの貝柱以外の食用化、養殖における疾病と養殖環境改善、真珠の評価と真珠層の形成過程に関する研究を実施し、志摩市にて報告会を行った。(2019.5～)

若者の観光を促進する参加型観光商品開発に向けた基礎的研究



伊勢志摩地域における若者の観光需要を喚起させる参加型観光商品開発を目指し、学生参画のもと伊勢志摩圏の文化や産業に関する調査、フィールドワークを実施している。(2018.11～)

関係自治体との連携基盤の強化



伊勢志摩サテライト交流会

伊勢志摩地区の行政職員及び本学職員の人材育成と官学連携の基盤強化を目的とした「伊勢志摩サテライト交流会」(テーマ別研修会)を開催。伊勢志摩サテライト管内の全6市町と特定のテーマをもとに意見交換・情報交換を行い、地域共創に向けた基盤形成に取り組む。平成30年度は全6回延べ138名が参加した。令和元年度からはゼミ形式にレベルアップして実施。本会により構築された連携基盤を基に、広域連携による外部資金獲得についても検討を進めている。(2018.5～)

新たな取り組み



国重要文化的景観選定を目指した海女漁村の空間(景観)構造の調査研究

海女の歴史・文化の応用研究として、海女集落の文化的景観の保全活用による地域再生として、行政と協働して海女文化を体験できる海女漁村のモデル地区整備に向けた景観計画を策定し、将来的には、三重県初となる国選定の重要文化的景観(文化財保護法)への選定を目指して推進する。平成30年度は海女漁村の中から石鏡地区と国崎地区を調査対象として選定し、建築物を中心とした景観調査を実施。海女漁村の景観特性と景観構造に関する分析を行い、調査研究報告書を取りまとめた。(2018～)

その他の活動実績(平成29～30年度)

▼市町とのプロジェクト

- 志摩市 志摩市内の観光・文化・産業を活用した地域人材育成のための工学教育プログラムの開発
- 志摩市 電動バス運行実証実験による地区の社会関係資本への効果検証調査
- 志摩市 平成29年度 津波避難施設の安全性を検証する研究
- 志摩市 官学連携研究(政策立案のための行政統計の活用法とそのための人材育成法の開発)
- 南伊勢町 南伊勢高校南勢校舎「地域経営プラン演習」構築委託業務
- 南伊勢町 南伊勢町湿潤系バイオマスエネルギー地域内循環利用可能性検討業務
- 南伊勢町 「アワビ養殖の確立と企業経営による雇用創出プロジェクト」におけるアワビ生産技術開発研究
- 南伊勢町 バイオガス回収及び熱回収施設導入検討

▼地域貢献支援事業

- 志摩市 志摩域における水産増養殖の振興に関わる研究及び教育での連携
- 志摩市・南伊勢町 ウニ除去を通じた三重県南部の藻場再生活動の推進
- 伊勢市・玉城町・大台町・多気町・明和町 宮川用水のパイプライン内のタイワンシジミ詰まり問題解決に向けて
- 志摩市 志摩の里海と海女文化を支える磯根資源の増殖のための取り組み
- 伊勢市・津市・伊賀市 LED利用型植物工場における光環境特性の構築および商用普及
- 伊勢市 人生経験のもつ強みを「聞き書き」を通して発見しよう
- 伊勢市 地域防災課題解決に向けた地域実践活動の支援
- 伊勢市 伊勢市の一次産業に関する課題抽出
- 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町 地方自治体における防災・減災に関する地域課題解決のための活動支援

▼県内中小企業との共同研究

- (H29)化学分野1件、環境学分野1件、工学分野1件、生物学分野4件、農学分野2件、複合領域分野1件
- (H30)化学分野2件、工学分野3件、生物学分野4件、農学分野2件

北勢サテライト<平成30年度開設>

● **担当エリア**：四日市市・桑名市・鈴鹿市・亀山市
いなべ市・木曽岬町・東員町・菰野町
朝日町・川越町

活動拠点 **知的イノベーション研究センター**〔四日市市〕

● **概要**：産学官連携を通じたSociety5.0・SDGsの実現を目指す地域産業の成長に寄与するため、多面的な視点から課題を発見し、異分野融合により解決方法を見だし、成果の社会実装を推進する。

北勢サテライトのミッション

1. ミッション

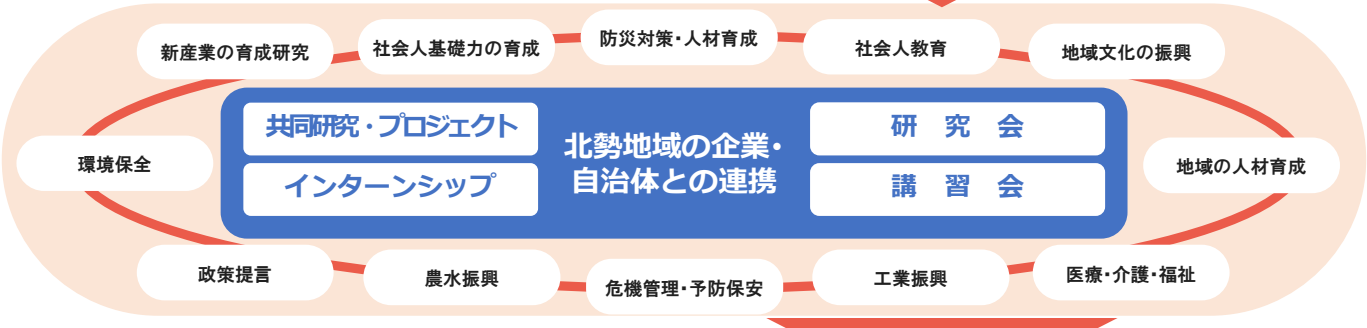


- (1) 共同研究、共同プロジェクトによる地域の課題解決
- (2) 企業人材のリカレント教育
- (3) 若手教員の実務研修

北勢地域の
企業・自治体

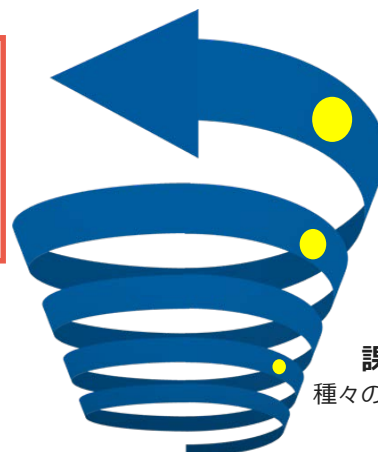


2. 北勢地域での実績の活用と連携



3. 効果(目指す課題解決の例)

福祉介護施設での自動化による人材不足の解消
次世代産業を牽引する高度人材の育成
情報化の推進による製造業の競争力強化
1次産業の6次産業化による収入増



社会実装

地域社会において有効性を確認(実証 実験)し、社会イノベーションを実現

解決方法の提案

実現可能な方法の検討

課題の発見

種々の地域の現場を多面的に分析

北勢地域の実際のデータに基づき、PDCAによって解決方法を発展させる。

産学官連携活動・研究成果の社会還元等

知的イノベーション研究センター設置



平成31年2月に活動拠点として知的イノベーション研究センターを設置。地域課題の抽出や解決方法の提案、研究成果の社会実装を目的とした活動を展開する。(2019.02.22)

SDGs研究会



2015年9月の国連サミットで採択された「国連持続可能な開発目標(SDGs)」について学び、実行するためのプラットホームを目指す。平成30年度は自治体職員を始め延べ44名が参加。(2019.2~)

健康福祉システム開発研究会



今後益々進むと予測される超高齢化社会で、高齢者が健康で健やかに生活できる環境を支援し、高齢者が抱える課題の解決方法の提案、社会実装を目指す。(2019.3~)

四日市商工会議所会頭との対談



北勢サテライト開設記念企画として、駒田学長、鶴岡サテライト長が四日市商工会議所を訪問し、同所会報誌「商工春秋」の特集記事として種橋会頭との対談を行った。(2019.2.12)

SDGsに関する講演・分科会



北勢サテライトとIATSSフォーラム(国際交通安全学会)の共催で、東南アジア10か国からの研修生と三重大学生・院生・留学生の総勢40名が、SDGsを通じた持続可能なアジア創生について講演及びワールドカフェ形式の分科会を開催した(2019.06.19)

ジュニアドクター育成塾



科学研究に強い関心と潜在的な才能をもつ小学5年生から中学3年生を対象として、観察・実験講座の受講、探究活動の実施、科学イベントへの参加等を通じて未来の科学者を育成する。北勢地区では北勢サテライト、四日市大学を使用して行われる。(2019.06.23)

活動実績(平成30年度)

▼市町とのプロジェクト

- 東員町 東員町立東員第一中学校移転事業に関する研究
- いなべ市 最適化アルゴリズムとデータ視覚化 バス経路計画問題への応用
- いなべ市 いなべ市北勢町田地域所蔵の古文書研究
- 四日市市 大矢知手延素麺・冷麦産地の実態調査研究
- 東員町 涵養域から流出域(水道水源井付近)までの水位・水質変化のモニタリング
- 四日市市 涵養域から流出域(水道水源井付近)までの水位・水質変化のモニタリング
- 四日市市 平成30年度 四日市市民大学(一般クラス)講座
- 東員町 東員町健康寿命等に係る要因分析及び調査研究
- 四日市市 平成30年度 環境用水の水利権取得に向けた調査研究業務委託

▼地域貢献支援事業

- 東員町 町立小・中学校および公共施設の協調的運営とその建築的整備に関する研究
- 桑名市 桑名市における不登校の未然防止の研究
- 桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町・四日市市・菰野町・朝日町・川越町・鈴鹿市・亀山市
地方自治体における防災・減災に関する地域課題解決のための活動支援
- 四日市市 三重県ジュニアロボコン
- 東員町 地域社会参加型研究を通して地域の課題解決に取り組む
- 鈴鹿市 地域の農業水利施設管理の高度化と標準化言語を利用した汎用化

▼県内中小企業との共同研究

- (H30)医歯薬学分野1件、化学分野3件、工学分野18件、農学分野8件、複合領域分野1件

数字でみる地域との取組状況

三重県、市町とのプロジェクトの実績 （共同研究・受託研究・ 受託事業・地域貢献支援事業）

地域	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
北勢	7	14,831	6	8,940	9	10,734	24	5,768
伊賀	2	9,000	2	9,000	5	9,584	9	6,605
伊勢志摩	10	23,643	7	25,909	6	12,341	14	9,115
東紀州	6	3,698	4	2,561	7	2,153	28	3,546
中勢	4	5,608	2	4,525	7	2,174	14	0
三重県	15	82,276	20	96,504	26	100,176	42	110,777
合計	44	139,056	41	147,439	60	137,162	131	135,811

(単位：千円)

中小企業との共同研究の実績

地域	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
北勢	10	8,367	9	4,872	24	6,217	38	10,006
伊賀	3	200	9	2,950	11	1,761	12	845
伊勢志摩	6	2,238	10	2,067	10	2,922	11	3,256
東紀州	0	0	0	0	1	375	5	1,318
中勢	40	19,987	37	35,170	56	29,412	74	34,392
県外	38	26,310	46	34,131	61	62,459	69	176,879
合計	97	57,102	111	79,190	163	103,146	209	226,696

(単位：千円)

県内29市町との協定締結数

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
14件	29件 (全市町と協定締結)	29件 (全市町と協定締結)	29件 (全市町と協定締結)



三重大学地域拠点サテライト